

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	900 救急講習会開催事業					
予算科目	01-090101-15 救急業務に要する経費			担当部課	消防本部救急課	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	市民
目的	救急車の現場到着前に適切な応急手当を実施できるバイスタンダーを育成し、救命率の向上を図る。
概要 (取組内容)	<p>応急手当開催コース 上級救命講習（8時間）、普通救命講習Ⅰ（3時間） 普通救命講習Ⅱ（4時間）、普通救命講習Ⅲ（小児・乳児対象3時間） その他の救急講習及び救命入門コース（90分、45分） 応急手当指導員及び普及員の育成 バイスタンダー（その場に居合わせた人）にサンキューカード（応急手当に対する感謝と応急手当をしたことで不安を感じた場合の連絡先を記載したカード）を配布</p>

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	11,972	1,381	1,381	1,381	
	決算額	(千円)	11,274	13,254	751	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,599	9,579	751	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	3,675	3,675	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,566	13,797	3,612	3,612	3,417	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	2.00	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	80.00	80.00	80.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	救命の第一歩は、バイスタンダー（その場に居合わせた人）による応急手当であり、バイスタンダーの重要性を理解してもらう。
企画・立案、計画	定期的な講習会を計画する。
実行	
評価、検証	アンケートで評価、検証を行う。

指標の推移

1	指標名	応急手当講習受講者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,500.0	6,500.0	6,500.0	0.0	0.0	0.0
	実績	5,791.0	1,101.0	1,810.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	普通救命講習Ⅰ、普通救命講習Ⅱ、普通救命講習Ⅲ、上級救命講習、救命入門コース、その他の救命講習の受講者数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	コロナ禍以前に比べると対象数は減ったが、昨年に続き感染予防対策を取った上で講習会を実施したことは、市民のニーズに一定数は応えられた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	市民からのニーズが見込まれる事業である

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	083 救急機器整備事業					
予算科目	01-090101-15 救急業務に要する経費			担当部課	消防本部救急課	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
根拠法令等	消防法、医療法施行規則					

事業の概要

対象	職員
目的	救急資器材の維持管理を行い、救急活動時に必要な資器材を署所に配置する。
概要 (取組内容)	救急活動時に必要な資器材の点検、修繕、購入を整備計画に基づいて実施する。 ※令和3年度に「896 消防機器整備事業」から一部事業を移管。令和2年度以前のデータは「896 消防機器整備事業」を参照。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	3,538	9,862	9,862	
	決算額	(千円)	0	0	13,758	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	13,758	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	6,834	6,834	6,834	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	救急自動車の資器材点検と消耗品の補充 (件)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	9.0	9.0	9.0	9.0
	実績	0.0	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	常時、稼働中の救急自動車9台分の資器材点検と消耗品の補充						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	救急活動時に必要な資器材の点検、修繕、購入が計画どおりに実施できた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	継続的に救急資器材の点検整備と資器材の補充を行う必要がある。

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	084 救急教育研修事業						担当部課	消防本部救急課
予算科目	01-090101-15 救急業務に要する経費						担当部課 係名	
市長公約								
戦略プラン							新規・継続	新規
							事業分類	自治事務（義務）
							事業体制	職員のみ
個別計画							事業期間	毎年度
							SDGs	03すべての人に健康と福祉を
根拠法令等	救急業務実施基準							

事業の概要

対象	職員
目的	救急業務に携わる職員への教育や研修を行い、医学知識や救急技術の向上を図る。
概要 (取組内容)	<p>病院研修や学会発表等を通じて、救急業務に携わる職員への医学的な質の向上を行う。</p> <p>※令和3年度に「897 各種災害統計事業」から事業を一部移管。令和2年度以前のデータは「897 各種災害統計事業」を参照。</p>

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	3,538	2,608	2,608	
	決算額	(千円)	0	0	2,202	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	2,202	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	6,834	6,834	6,834	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	救急救命士の研修 (人)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	60.0	87.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	55.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	救急救命士数73名。就業前病院研修、病院実習、気管挿管研修、学会での発表を行う。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし				
成果	医療機関の協力により、濃厚接触者等の5名を除き、55名が病院実習を行えた。BLS等の各コースはコロナ禍により開催が軒並み中止となってしまった。全国救急隊員シンポジウムはWEB開催で1名が発表を行った。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>気管挿管未認定の救急救命士のために、新たに研修先の病院を確保する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	気管挿管未認定の救急救命士のために、新たに研修先の病院を確保する必要がある。	組織、予算等	
業務	気管挿管未認定の救急救命士のために、新たに研修先の病院を確保する必要がある。				
組織、予算等					
改善目標	新たな気管挿管研修先を探すとともに、できる限り2ヶ月程度で研修が終了するよう担当医師に協力を依頼する。				

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	救急業務に携わる職員への教育や研修が継続的に必要なため。

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	085 救急自動車更新整備事業					
予算科目	01-090103-15 救急車両に要する経費			担当部課	消防本部救急課	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	救急車両等更新整備計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	職員
目的	災害から市民の生命、身体及び財産を保護するとともに、災害等による傷病者の搬送を適切に行う。
概要 (取組内容)	救急需要の増加に応じた救急車両更新計画の見直しを定期的に行い、救急自動車の更新を行う。（なお、事業費にあつては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で購入する。） ※令和3年度に「902 緊急自動車更新整備事業」から事業を一部移管。令和2年度以前のデータは「902 緊急自動車更新整備事業」を参照。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	41,044	41,091	41,091	
	決算額	(千円)	0	0	40,341	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	40,341	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	3,417	3,417	3,417	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	救急自動車の更新 (台)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	2.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	令和3年度中に更新予定の救急自動車の台数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和2年度更新予定の荃崎救急車は入札不調となり、令和3年度に更新した。	
成果	令和2年度更新予定の荃崎救急車と令和3年度更新予定の豊里救急車、令和3年度に計2車両を更新できたことで救急体制の強化が図られた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	継続して車両更新を実施する必要があるため。

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	086 救急自動車管理事業					
予算科目	01-090103-15 救急車両に要する経費			担当部課	消防本部救急課	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
根拠法令等	道路運送車両法					

事業の概要

対象	職員
目的	救急出場に備え救急自動車を常に良好な状態に保ち、迅速かつ的確に対応できる車両の運用を図る。
概要 (取組内容)	救急自動車の日常点検、定期点検及び法定点検を通年実施し、良好な車両状態を保つとともに、必要に応じて修繕を行う。 ※令和3年度に「903 緊急自動車管理事業」から事業を一部移管。令和2年度以前のデータは「903 緊急自動車管理事業」を参照。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	9,384	10,755	10,755	
	決算額	(千円)	0	0	8,122	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	8,122	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	3,417	3,417	3,417	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	救急自動車等の維持管理 (台)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	12.0	12.0	12.0	12.0
	実績	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	救急自動車等保有台数12台（救急車9台、救急予備車2台、普及啓発車1台）					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	救急自動車の点検整備等を職員及び定期的に専門業者に依頼して実施したことにより、事故防止が図られ救急事案等に対し迅速に対応することができた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続	
理由	継続的に点検整備を実施する必要があるため	